一般業務／複数波簡易無線対応 携帯型無線機

GP3188

取扱説明書

コンピュータソフトウェア著作権

はじめに

このたびはモトローラの携帯型無線機「GP3188」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書はGP3188の標準的な操作方法について説明した取扱説明書です。ご使用前に必ずお読みください。

●ご注意

・通話は、無線局免許状に記載されている目的、通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。ただし、人命の救助、洪水、火災などの災害時に、人命にかかわる通信を行なうときはこのような制限はありません。
・他人から頼まれて通信したり、他人の用件のために無線機を貸して使用することは電波法令で禁じられています。
・他人の通話を聞いて、これを漏らしたり悪用することは電波法令で禁じられています。
・本機は電波法令で定められた技術基準に適合（合格）していますので、分解や改造は電波法令で禁じられています。

●本文中のマークの意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠ 警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠ 注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。
お願い	性能を十分発揮できるように、お守りいただきたい事項です。

安全上のご注意

製品安全性およびRF（高周波）エネルギー照射の適合

この無線機の使用は、アメリカ連邦通信委員会（FCC）の定めるRF（高周波）エネルギー照射の基準を満たす業務目的に限られています。この無線機をご使用になる前に、製品安全性およびRF（高周波）エネルギー照射に関する添付冊子に記載されているRF（高周波）エネルギー認知情報および操作説明を必ずお読みください。

モトローラ承認済みのアンテナ、バッテリー、およびその他のアクセサリー一覧については、承認済みアクセサリーを掲載している次の英文ウェブサイトを参照してください。

http://www.motorola.com/cgiss/index.shtml.

目次

●はじめに
●安全上のご注意
●製品および付属品の確認 ……………………………6

準備編

●各部の名称と機能……………………………10
○電源/ボリュームスイッチ ……………………10
○チャンネル切替スイッチ ……………………10
○送信（PTTボタン）…………………………10
○マイクロホン …………………………………11
○LEDインジケータ……………………………11
○バッテリー残量の表示………………………12
○プログラムボタン ……………………………12
○インジケータトーン …………………………14
●付属品の取り付け／取り外し ……………15
○バッテリーを取り付ける ……………………15
○バッテリーを取り外す ………………………16
○アンテナを取り付ける ………………………17
○アンテナを取り外す …………………………17
○ベルトクリップを取り付ける ………………18
○ベルトクリップを取り外す …………………19
●バッテリーの充電について ………………20
●電源を入れる/切る ……………………………22
●受信音声スピーカ出力を調整する ………23
●チャンネルを切替える ………………………24

操作編

●送信する……………………………………………26
●受信する……………………………………………27
●モニター操作を行なう……………………………28
●VOX機能を使う …………………………………29
○VOXヘッドセットを接続する ……………………29
○ヘッドセットフィードバックトーンを有効または無効にする …30
・VOXヘッドッセット ……………………………30
・インラインPTT付きヘッドッセットを接続する
（VOX機能なし） …………………………………30
●無線機の各種呼出し………………………………31
○スケルチレベルを設定する ………………………31
○出力レベルを設定する……………………………31
○個別呼出しを受信する……………………………32
○鳴音呼出しを受信する……………………………32
●スキャンを使う……………………………………33
○スキャンの開始と停止……………………………33
○応答する……………………………………………34
○不要チャンネルを削除する ………………………34
○削除したチャンネルをスキャンリストに戻す …………35
○チャンネルに優先順位を設定する ………………35
●音声品質向上機能…………………………………36
●アフターサービスについて ………………………37

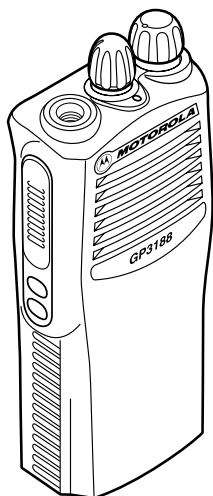
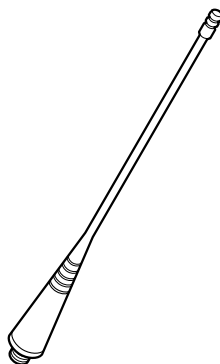
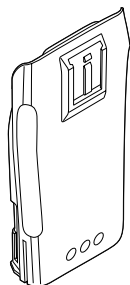
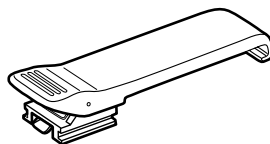
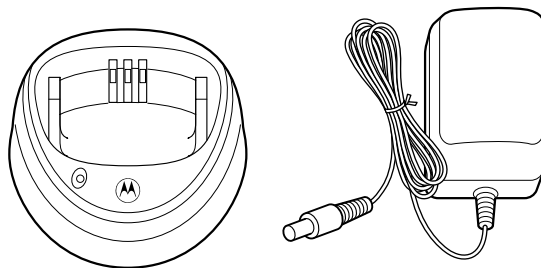
注意 取扱説明書中に、下記の 一般 または 簡易 表示がされている場合、その機能および操作はこの表示の種類の無線機に限定されます。

一般 ：　一般業務用無線機の場合に限られます。

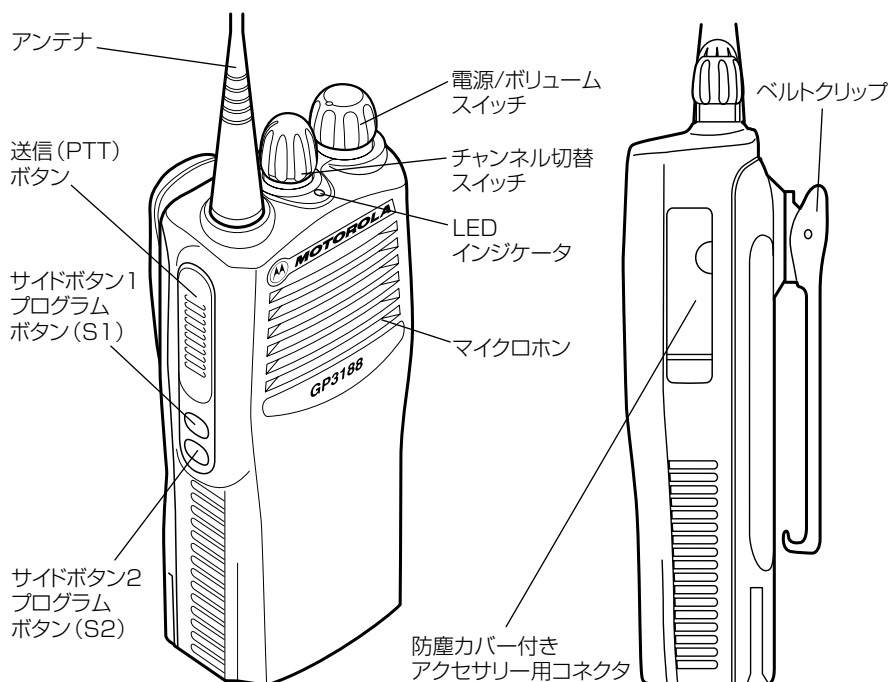
簡易 ：　簡易業務用無線機の場合に限られます。

製品および付属品の確認

はじめに無線機本体と付属品を確認してください。

●無線機本体

●アンテナ

●バッテリー

●ベルトクリップ

●充電器

●取扱説明書（本書）

準備編

各部の名称と機能

電源/ボリュームスイッチ

無線機の電源オン/オフおよびスピーカボリュームの調整を行います。

チャンネル切替スイッチ

チャンネルの切替えを行います。

送信(PTT)ボタン

このボタンを押しながら送信し、ボタンから指を離して相手の話を聞きます。

マイクロホン

送信するとき、マイクロホンを口から2.5cm～5cm離して構え、はっきりと話しかけてください。

LEDインジケータ

LEDインジケータは、電源オン、送信、受信、スキャン、鳴音呼出し、個別呼出しおよびバッテリー残量を表示します。

LEDインジケータ

LED状態/色	表　示
無線機呼出し	
赤点灯	送信中
赤点滅	受信中
スキャン 一般	
緑点滅	スキャン中
バッテリー低下	
送信中に赤点滅	バッテリー残量低下
鳴音呼出し	
黄点滅	鳴音呼出し受信表示
個別呼出し	
黄点滅	個別呼出し受信表示
モニター/スケルチ解除	
黄点灯	モニター中
バッテリー残量	
緑点灯	フル
黄点灯	十分
赤点滅	低下
点灯なし	非常に低下

バッテリー残量の表示

お買い求めの販売店でプログラムボタンのひとつを、バッテリーの残量表示用に設定することができます。設定されたバッテリーインジケータボタンを押したままにすると、LEDの表示色からバッテリー残量がわかります。

バッテリ残量	LED表示色
フル	緑
十分	黄
低下	赤点滅
非常に低下	点灯なし

プログラムボタン

無線機には2つのサイドボタンがあります。お買い求めの販売店でこれらのボタンに各種機能のショートカットを設定することができます。ご使用の無線機が対応している機能については、お買い求めの販売店にご確認ください。

これらのボタンは、押し方に応じて機能を選択します。

1. 短押し

プログラムボタンを短時間押す操作

2. 長押し

プログラムボタンを一定時間押したままの状態にする操作（設定時間または初期設定の2.5秒間）

3. ホールド

状態確認または調整をおこなう間、プログラムボタンを押したままの状態にする操作

販売店によるボタンの設定次第で、短押しまたは長押しのどちらでも指定の機能を起動することができます。

プログラムボタンの機能

ボタン	短押し/長押し	ホールド
バッテリーインジケータ	—	バッテリー残量を確認します。
モニター	a）オープンスケルチモード 短押しでスケルチオン/オフを行ない、長押しでスケルチ解除を保持します。	スケルチを解除します。
	b）サイレントモード 短押しでモニターオン/オフを行ない、長押しでモニター解除を保持します。	—
ボリューム設定	無線機のボリュームを調整するためのトーンを出力します。	
VOX機能（音声による送信操作）	VOX機能のオンとオフを切り換えます。	—
出力レベル	ハイパワーとローパワーを切り換えます。	—
スケルチ	スケルチレベルを深いレベルまたは標準レベルに切り換えます。	—
スキャン	スキャンのオンとオフを切り換えます。	—
不要チャンネルの削除	スキャンリストより不要チャンネルを削除します。	—

インジケータトーン

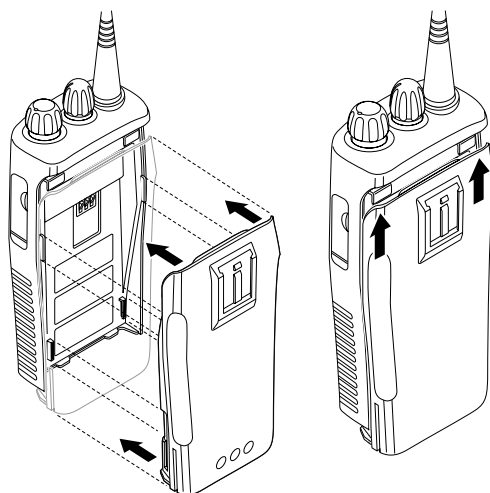
ハイピッチトーン（ピッ音）□　ローピッチトーン（ブー音）■

□ □	セルフテスト正常　（ピピッ）
■	セルフテスト異常　（ブー）
□ □	ポジティブ インジケータトーン（ピピッ）
□	ネガティブ インジケータトーン（ピッ）

プログラムボタンを使用する場合、インジケータトーンは以下を表します。

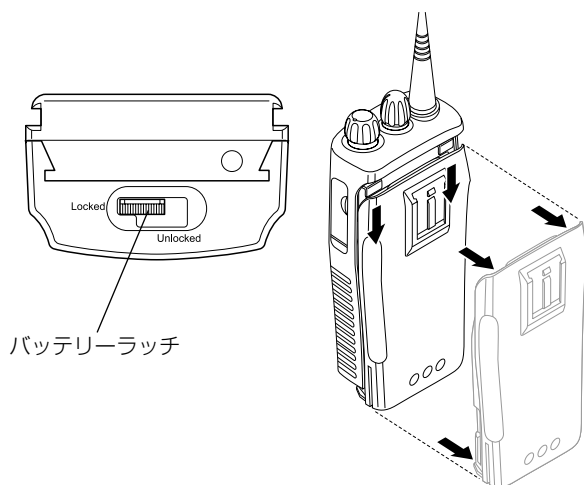
プログラムボタン	**ポジティブインジケータトーン**	**ネガティブインジケータトーン**
スキャン	**スキャン開始**	**スキャン停止**
出力レベル	**ハイパワー**	**ローパワー**
スケルチ	**深い**	**標準**
VOX機能	**VOX機能はオン**	**VOX機能はオフ**

付属品の取り付け/取り外し

バッテリーを取り付ける

1. バッテリーラッチがロックされていないことを確認します。バッテリーを装着するまえにバッテリーラッチのロックを解除してください。無線機背面のバッテリーレール（無線機の先端から約1.3センチの位置）にバッテリーを合わせます。

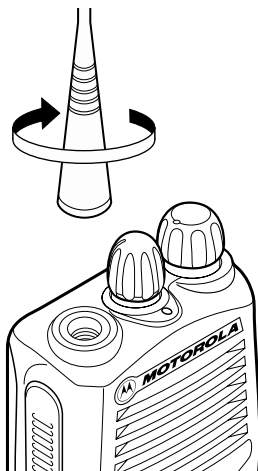
2. 無線機にバッテリーをしっかり押し込んで、ラッチのスナップがはまるまで上方向にスライドさせます。

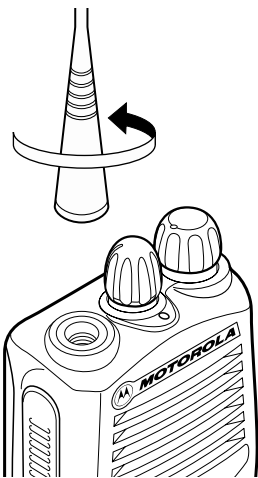
3. 無線機の底面にあるバッテリーラッチをロックの位置にスライドさせます。

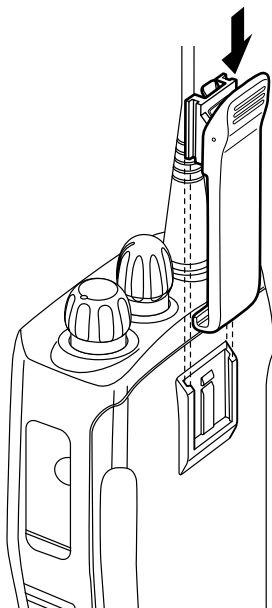
バッテリーを取り外す

1. **無線機の電源がオンになっている場合はそれをオフします。**

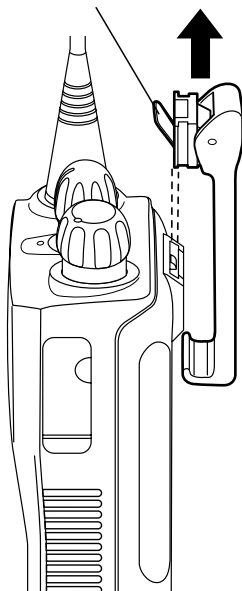
2. **バッテリーラッチをロック解除の位置にスライドさせます。無線機の前面に向かってラッチを押し下げながら外します。**

3. **バッテリーラッチが外れたら、バッテリーを無線機の先端から約１． 3 センチ下の位置までスライドさせます． レールから外れたバッテリーを無線機から取り外します。**

アンテナを取り付ける

アンテナを時計方向に回しながら取り付けます。

アンテナを取り外す

アンテナを反時計方向に回しながら外します。

ベルトクリップを取り付ける

1. ベルトクリップの溝をバッテリーの溝に合わせます。
2. ベルトクリップをカチッと音が聞こえるまで押し下げます。

ベルトクリップを取り外す

ベルトクリップのタブを押しながらバッテリーのロックを解除します。

ベルトクリップを上方向にスライドさせて外します。

バッテリーの充電について

新品または残量が非常に低下しているバッテリーをご使用になるまえに、かならず充電をおこなってください。バッテリー残量が低下している場合や、無線機が送信モードにある間、赤色のLEDが点滅します。送信ボタンを離すと、アラートトーンが聞こえます。

注意 バッテリーは工場出荷時には充電されていません。充電器の表示状態にかかわらず、初めてご使用になるまえに、14時間から16時間充電をおこなってください。

バッテリーを充電するには

無線機の電源をオフします。

バッテリーを（無線機に接続した状態または単独で）充電器のポケットに入れてください。

充電器のLED表示で充電状態を確認することができます。

LEDインジケータ

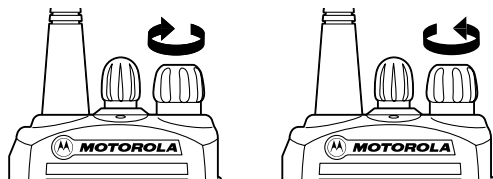
LED表示色	状　態
LED表示なし　a)	バッテリーが正しく挿入されてないまたは検出できない
緑単独点滅	充電器電源オン
赤点滅　b)	バッテリーが充電不能または接触不良
赤点灯	充電中
黄点滅	充電待ち状態。温度が不適切（高すぎまたは低すぎ）、または電圧が設定された充電用電圧値を満たしていないことが考えられる
緑点滅　c)	90% 以上充電完了
緑点灯	フルチャージ

a) 充電器の充電端子にバッテリーが適切に接触できるように、バッテリーのレールアダプタが正しく挿入されているかどうかを確認してください。
b) バッテリーを充電器から取り外して、 背面にある3つのメタル端子を消しゴムできれいにしてから、充電器に戻してください。赤色のLEDが点滅しつづける場合は、バッテリーを交換してください。
c) 標準的なバッテリーが90%充電にかかる充電時間は約90分です。

バッテリー持続時間

バッテリー種類	リチウムイオン電池（1600mAH）	リチウムイオン電池（2250mAH）	ニッケルカドミウム電池（1100mAH）	ニッケル水素電池（1400mAH）
持続時間（ハイパワー）	12時間	16時間	8時間	10時間
持続時間（ローパワー）	17時間	24時間	10時間	13時間

＊ バッテリーの持続時間については実際の使用状況によって変化します。
＊ 上表の時間は、使用時間を（送信5：受信5：待ち受け90）の割合で、バックライトをOFFの状態での持続時間となります。

電源を入れる/切る

オ　ン	オ　フ
電源ボリュームスイッチを時計方向に回します。正常に立ち上がればセルフテストパストーン (ピピッ) が出力され、緑の LED が点滅します。立ち上がり時に不良が発見された場合は、セルフテストフェイルトーン (ブーー) が出力されます。再度電源を入れ直してください。	電源ボリュームスイッチを反時計方向にカチッとクリック音がするまで回します。

受信音声スピーカ出力を調整する

ボリューム設定ボタンを押したままにします。

連続トーンが聞こえます。

電源ボリュームスイッチを回して希望のボリューム位置に調整します。

ボリューム設定ボタンを離します。

チャンネルを切替える

ご使用の無線機は、最大16チャンネルまで設定することができます。
チャンネル切替スイッチを時計方向または反時計方向に回して、希望のチャンネルに設定します。

操作編

送信する

無線機の電源をオンします。

チャンネル切替スイッチを回して希望のチャンネルに切替えます。

送信操作を行なう前に、使用するチャンネルが通信中でないことを確認する必要があります。

無線機を垂直に構えてマイクロホンを口から2.5～5cm離します。送信（PTT）ボタンを押して通話します。

・ 送信している間、赤のLEDが点灯します。

送信（PTT）ボタンを離して相手からの応答を聞きます。

受信する

無線機の電源をオンします。

無線機のスピーカーボリュームを適切な位置に設定します。

希望のチャンネルに切替えます。
応答する場合、無線機を垂直に構えてマイクロホンを口から2.5～5cm離します。送信（PTT）ボタンを押して応答します。または送信（PTT）ボタンを離し受信音声を聞きます。

モニター操作を行なう

送信操作をおこなう前、相手側無線機が通信中でないことを確認する必要があります。

サイレントモニター

モニター用に設定されたプログラムボタンを押したままにして、チャンネルの空きを確認します。

・ この場合、スピーカより雑音は出力されません。

チャンネルが空いている事を確認し、送信（PTT）ボタンを押して送信してください。

モニターボタンを長押しすると、無線機のスケルチは解除されます。

・ この場合、スピーカより雑音は出力されません。
・ ハイピッチトーンが聞こえます。
モニターボタンを短押しすると、モニターモードは解除され、無線機は通常の動作に戻ります。

VOX機能を使う

ハンズフリー操作をおこなう場合、無線機に接続されているVOXヘッドセットを通して、VOX機能により音声だけで無線機から送信をおこなうことができます。

VOXヘッドセットを接続する

無線機の電源をオフします。

VOXヘッドセットを無線機に接続して無線機の電源をオンします。

VOX機能用に設定されたボタンを押して、VOX機能を有効または無効にします。注1）

－ または －

販売店がVOX機能用に設定したチャンネルを選択し、VOX機能を有効にします。注2）

注1）無線機本体の送信（PTT）ボタンを押すと、VOX機能は無効になります。

注2）VOX機能ボタンを押す必要はありません。
VOX機能用に設定されたチャンネル以外のチャンネルを選択してVOX機能を無効にします。

ヘッドセットフィードバックトーンを有効または無効にする

ヘッドセットを通じて送信中の自分の音声が聞けるように、お買い求めの販売店でご使用の無線機を設定することができます。

— VOXヘッドセット —

無線機の電源をオフします。

VOXヘッドセットを無線機に接続します。

無線機の電源をオンします。送信中、フィードバックトーンが有効になりヘッドセットから自分の音声が聞こえます。

— インラインPTT付きヘッドセット(VOX機能なし)を接続する —

無線機の電源をオフします。

インラインPTT付きヘッドセットを無線機に接続します。

ヘッドセットのインラインPTTボタンを押し下げたままにします。

無線機の電源をオンします。無線機が完全に立ち上がったら送信（PTT）ボタンを離します。送信中、フィードバックトーンが有効になりヘッドセットから自分の音声が聞こえます。

ヘッドセットのフィードバックトーンを無効にする場合、無線機の電源をオフしてもう一度オンします。

無線機の各種呼出し

スケルチレベルを設定する

スケルチ機能を使って無関係な（不要な）呼出しやバックグラウンドノイズを取り除くことができます。ただし、スケルチを深いレベルに設定すると、遠隔地からの通信も同じように排除される可能性があります。このような場合、スケルチを標準レベルに設定することをお薦めします。あらかじめスケルチレベル選択用に設定したボタン（13ページを参照）を押して、スケルチの設定を深いレベルまたは標準レベルに切り換えます。

出力レベルを設定する

無線機の各チャンネルの送信出力レベルはあらかじめ設定されています。この設定を以下のように変更することができます。

・ハイパワーはより遠い地点の無線機に届くことができます。
・ローパワーはバッテリーを節約します。

出力レベルを設定するには、あらかじめ出力レベル選択用に設定したボタンを押して、ハイパワーまたはローパワーに切り替えます。

注意 出力レベル選択を行なう場合は、それぞれの出力の免許が必要となります。

個別呼出しを受信する

個別呼出しを受信した場合：

・ LEDが黄色に点滅します（販売店で設定済みの場合）。

・ ハイピッチトーンが 2 回聞こえます。（ピピッ）

送信（PTT）ボタンを押して応答します。

鳴音呼出しを受信する

鳴音呼出しを受信した場合：

・ LEDが黄色に点滅します（販売店で設定済みの場合）。

・ ハイピッチトーンが 4 回聞こえます。（ピピピピッ）

送信（PTT）ボタンを押して応答します。呼び出しをキャンセルする場合、送信（PTT）ボタン以外のボタンを押します。

スキャンを使う 一般

複数のチャンネルをモニターしてそれらのチャンネルからの呼出しを受信することができます。お買い求めの販売店で、スキャンリストにチャンネルの設定を依頼してください。スキャンリストに設定されているチャンネル上で受信電波を検出すると、無線機は自動的にそのチャンネルに切り換えます。

スキャンの開始と停止

スキャン動作中、LEDは緑色に点滅します。無線機が受信しているチャンネルに切り換わると、LEDの点滅は止まります。
以下の手順でスキャンを開始または停止します。

あらかじめスキャン用に設定したボタンを押してスキャン動作を開始または停止します。

― または ―

販売店でオートスキャン用に設定したチャンネルを選択し、オートスキャンを開始します。

スキャン用に設定されたボタンを押す必要はありません。

販売店でオートスキャン用に設定したチャンネル以外のチャンネルを選択してスキャンを停止します。

注意 スキャン用に設定されたボタンを押す必要はありません。

応答する

トークバックオプションが設定されている場合、スキャン中に受信したチャンネルで通話に応答することができます。スキャン中に通話がチャンネル上で検出されると、無線機はあらかじめ設定された時間（ハングタイム）だけそのチャンネルに止まります。このハングタイム中に、送信（PTT）ボタンを押して応答することができます。
通話が止むか、または設定時間内に送信（PTT）ボタンを押さなかった場合に、無線機はスキャンを再開します。詳細についてはお買い求めの販売店にご確認ください。

不要チャンネルを削除する

注意 この機能を使用するには、お買い求めの販売店で、ボタンに不要チャンネルの削除の設定を依頼してください。

スキャンリストに登録されているチャンネルが不要な呼び出しまたはノイズ（不要チャンネル）を受信しつづける場合、そのチャンネルを一時的にスキャンリストから外すことができます。

無線機が不要チャンネルに停止している間に、あらかじめ不要チャンネル削除用に設定したボタンをトーンが聞こえるまで押しつづけます。

不要チャンネル削除ボタンから指を離すと、不要チャンネルが削除されます。

注意 優先チャンネルやスキャンリストに残る最後のチャンネルを削除することはできません。

削除したチャンネルをスキャンリストに戻す

スキャンボタンを押してスキャンを停止します。

もう一度スキャンボタンを押してスキャンを開始します。一旦削除された不要チャンネルはスキャンリストに戻されます。

チャンネルに優先順位を設定する

他のチャンネルより頻繁にチェックしたいチャンネルに優先順位を設定することができます。
お買い求めの販売店でスキャンリストのチャンネルに優先順位を設定してもらってください。詳細については、お買い求めの販売店にご確認ください。

優先チャンネル	スキャンの順番
指定なし	Ch1→Ch2→Ch3→Ch4→...Ch1
チャンネル2（優先順位1）	Ch2→Ch1→Ch2→Ch3→Ch2→Ch4→Ch2→...Ch1

非優先チャンネルの受信中に優先チャンネルが受信した場合、無線機は自動的にその優先チャンネルに切り換わります。

音声品質向上機能

コンパンディング

この機能は、送信時に音声を圧縮し、また受信時には音声を伸張して同時に無関係なノイズを削減する機能です。ただし、すべての無線機でコンパンディング機能が設定されている場合のみ利用することができます。

アフターサービスについて

無線機は定期的に、お買い上げの販売店で点検されることをおすすめします。

(1)保証期間について

(i)無線機本体

保証期間は、お客様が運用を開始された日より2年間です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、お手数ですが、お買い上げの販売店へご連絡ください。当社修理規定に基づき、無償で修理いたします。

(ii)バッテリー

保証期間は、お客様が運用を開始された日より1年間です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、お手数ですが、お買い上げの販売店へご連絡ください。無償で交換をいたします。なお、交換品の保証期間は、交換時期に関係なく、最初のお買い上げより1年間が無償保証期間となります。

(2)保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にて修理(有料)いたしますのでご相談ください。

お買い求めの販売店をご記入ください。
お客様が保証をお受けになる重要な窓口です。必ずご記入ください。

ご購入日　　　年　　月　　日

製品およびアクセサリ等についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

モトローラ・ビジネスユニット

カタログ等のお問い合わせは、
モトローラ・カスタマーセンターへ　0120-549-533
ホームページ……http://motorola-bizunit.jp

仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。

本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」（日本）及び「米国輸出管理規制」による規制を受けますので、当製品を輸出する場合は、同法に基づく手続きが必要です。

発行元　株式会社スタンダード　東京都目黒区中目黒4-8-8

6804113J58-B

JM-1